

機能訓練用パチンコ 導入施設アンケート【回答】

1. 回答者の役職 （その他：介護支援専門員）

2. 福祉・介護業界での経験年数（27 年）

3. 主に関わっている業務

（・利用者対応、相談、機能訓練・広報担当・地域交流活動担当など）

4. 導入前の状況

・利用者様が自発的に取り組まない・レクリエーションがマンネリ化していた。

・施設に入所したことで「今までやっていたことは、できなくて当然」と言った気持ちの方が多かった。

5. 機能訓練やレクリエーションの場面での具体的な様子や課題

・機能訓練は理学療法士が関わることもあり、積極的に行う利用者が多い。半面、「リハビリしても治らない。」と否定的で積極的に取り組めない方がいた。レクリエーションもマンネリ化しており、個々の積極性にばらつきがあった。

6. 導入前の機能訓練・レクリエーションの実施状況

・1 回あたりの平均実施時間（20～30 分）

・途中でやめてしまう利用者→いる

・参加の様子→どちらともいえない

【導入のきっかけ】

7、導入を決めた理由

- ・利用者様が興味を持ちやすいと感じた・楽しみながら取り組めると思った
- ・機能訓練として活用できると考えた・費用面で導入しやすかった

8、導入前に不安だったこと

- ・利用者様が使えるかどうか・継続して使えるかどうか

9、現在の状況

- ・一度、試して「もういいや」と言った方、何度も繰り返し楽しんでいる方に分かれています。

10、利用者の反応

- ・自分から取り組むようになった・楽しみにする利用者が増えた

11、数値的な変化

レクリエーションの実施時間として増えたように感じる。明確な時間の差は不明。

12、継続して使用できていますか

- ・一部の利用者様のみ継続利用している

13、導入後、利用者様に見られた具体的な変化

- ・自発的に実施したがるようになり、ユニットからパチンコ台を設置している、サークル室まで歩行したり、車いすを自走したり、という動きも増えリハビリ効果として

は高いと感じている。

14、印象に残っている出来事や利用者様の反応

・重度の認知症でほぼ寝たきりの利用者。若いころはパチンコに毎日のように通っていたという方です。1日のほとんどをウトウトとして過ごし、話しかけても発語なく反応も薄い方がいます。パチンコ台を導入し、実際にご本人が動かすことはできませんが、パチンコ台の音、光に…ご本人はしっかりと目を開けパチンコ台を凝視している様子がありました。何かしら感じているものはあったと思います。

【専門的な視点】

15、専門職としてのご回答に該当しますか（はい）

16、※上記で「はい」と回答された方のみ

専門的な立場からみたご意見（任意・自由記述）

・介護支援専門員の視点としては、ご利用者のバックグラウンドとして、パチンコに親しんできたかは多い。施設利用、施設入所となったことで「これまで楽しんできた事」を諦めている方が多いと感じている。今回、機能訓練パチンコ台を導入したことで「これまでの生活」を取り戻した方がいると感じている。また、パチンコを通してご利用者様も新たな関係が生まれており、今回導入した効果は大きいと感じている。

17、他の機能訓練、レクリエーションとの違い

「みんなでやる」レクリエーションとは違い、個別性が反映される。

18、どのような利用者様に適していると感じますか

- ・これまでパチンコに親しんできた方

19、使用頻度

- ・週に数回

20、1回あたりの利用時間

- ・20分以上（1人当たりの利用時間）

21、主な使い方

- ・余暇時間に利用

22、導入による変化の実感

- ・ある程度変化を感じている

23、導入、運用のしやすさ

- ・非常に簡単に運用できている

24、総合的な満足度

※導入前と比較しての満足度 9/10点

25、他施設へのおすすめ度 10/10点

26、導入して良かったと感じている点

何よりもご利用者が「また、パチンコできると思わなかった。」と話していたこと。

27、改善してほしい点や気になる点

特になし

28、この取り組みの価値について

※どのような点に意味があると感じているか

使用されなくなったパチンコ台の再利用という点で、「もったいない」が生かされていると感じる。社会的なリユースとして大きな意味があると感じている。

29、福祉現場にとっての意義

※現場全体への影響や役割

介護保険制度が始まって30年近く経過するが、まだまデイサービスなどのレクリエーションや体操などは「お遊戯」と、とらえる方も多い。その中で「これまで楽しんでいた娯楽」がリハビリと直結することで、意欲をもって参加できるきっかけになるのではないかと思う。

30、一言で表すと

健康な頃に楽しんでいたパチンコを、要介護状態となったことで諦めた方は多くいると思う。「これまでの楽しみ」を福祉施設で継続できるということは、尊厳も継続できると感じている。

以上